

泉ヶ丘地区 安全なまちづくり フェスティバル2013



10月12日、13日、泉ヶ丘駅周辺施設で行われた「安全なまちづくりフェスティバル」は晴天の中、大勢の家族連れや学生が集まる賑やかな2日間となりました。

毎年、当院も主催側として参画しているフェスティバルは、泉ヶ丘専門店会や泉北ニュータウン再生府市等連携協議会、警察や区役所等の団体で構成されています。当院も構成団体のひとつとして、メイン会場である泉ヶ丘駅噴水広場の一角にブースを設け、こころの健康相談(認知症・児童・うつ)を実施しました。同時にステージイベントとして周辺の幼稚園や大学、高校からチアリーディングや、ダンス、吹奏楽などを楽しむことができます。

12日(土)には当院から劇団「すまいる」が「認知症の人の気持ち」を寸劇で披露、たくさんの観客を沸かせていました。また、警察や消防からは地震体験者やパトカー、はしご車の試乗もあり、たくさんの子どもさんと親御さん、そしておじいちゃん、おばあちゃんと一家総出で楽しんでいるご家族もみられました。高齢化、過疎化が進む南区のニュータウンや旧村を活性化するためのイベントや取り組みは定期的にも実施されていて、周辺に住んでおられる方の拠り所のひとつになっているように感じました。

両日にわたり、医師、看護師、薬剤師、精神保健福祉士等、が参加し、地域の方と関わる有意義なイベントでした。昨年から好評のちびまるこちゃんのパネルにも子どもたちが吸い寄せられていて、当院ブースの目玉になっていました。



基本方針 人権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

最新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

信頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定

院内 花 だ よ り

病院玄関桜の木がほんのり色づいています。日ごとに風の冷たくなるこの季節の楽しみはやはり、木々の紅葉ではないでしょうか。青く澄み渡る空に赤や黄色の葉色が映えて、目を楽ませてくれます。

こうよう 紅葉



細かくいうと、赤色に変わるのを「紅葉(こうよう)」、黄色に変わるのを「黄葉(こうよう、おうよう)」、褐色に変わるのを「褐葉(かつよう)」と呼ぶそうですがご存知でしたか?しかしこれらを厳密に区別することができないため、まとめて「紅葉」と呼ばれているようです。紅葉の美しさは、一色だけではなく、黄色や茶色も混じるのが美しさを引き立たせているように感じます。毎日の道すがら、ふと立ち止まって、周りの紅葉を探してみたいかがでしょう。写真は落ち葉を拾ってきて星形に型抜きしました。なかなかステキだと思いませんか?

2013年も残り1ヶ月半ほどとなりました。冬至はもう少し先ですが、季節が変わることを告げる二十四節気の第22番目にあたる冬至、2013年は12月22日(日)です。この日を境に寒さが厳しくなるといわれていますが、そんな冬を迎える合図の意味を持っていて例年かぼちゃを食べたりする風習も残っています。現在では、かぼちゃの栄養価が目玉されてビタミンAや

冬 至



カロチンが多く含まれるから風邪の予防になりやすいと言われていますが、昔は冬場の野菜が不足しがちな時期に栄養価が高く保存も効くことからこの時期はかぼちゃを食べる風習ができたようです。ゆず湯に入るのも体を温める意味があり、昔の人たちの願いや冬を乗り越えるために苦勞したあとが見えるようですね。今年の冬至も温かく過ごしましょう。

■外来診察表 外来診察時間/9:00~12:00(受付は11:30まで)

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1 診	黒田	子安	作田	横田	黒田	横田
2 診	福田真	植月	松島	清水	横井	横井
3 診	西側	澤田	植田	澤田	西側	植田
4 診	長谷川	島本	大浦	仲山	西岡	植月
5 診	佐野	山田	川村	宮里	秋田	
6 診	呉家	土井	正路	永松	土井	呉家
7 診	村上智	村上智	小深田	和田	作田	小深田
8 診	西村	橋本	西村	河野い		和田
9 診	熊取谷	柏木	荒川		影山	熊取谷
診(心1)	福田晋	河野隆	中井	橋元	岩田	
診(心2)	松島					

(ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします)
専門外来(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。
受診の前に下記へお電話ください。
☎072-278-0381 FAX072-281-6615



診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 168床(C1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 25床(D1病棟)
- 亜急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 51床(E2病棟)
- メンタルケア病棟 35床(E3病棟)
- リハビリ mix 病棟 60床(D2病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 51床(H1病棟)
- リハビリ(精神療養)病棟 60床(F2病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F3病棟) 計690床

看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 救急病棟 10:1
看護師比率 70%以上・看護補助 30:1

関連施設紹介

- 認知症疾患医療センター
- 訪問看護ステーションふれあい ☎072-279-1631
- 居宅介護支援事業所
- ケアホーム/こもれび・青空・そよかぜ
堺市中区八田南之町277 阪南病院内 ☎072-278-0381
- ケアホームあんずの郷
堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい
堺市中区深井東町3134 ☎072-277-9555

創立57周年記念式典



第57回 創立記念日

10月10日当院は57回目の創立記念を迎えました。これもひとえに近隣の病医院の先生方はじめ、多くの皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。57年前、144床55名の職員でスタートした当院は、現在690床、650名の職員を有する組織となりました。精神科医療をもって地域に貢献するという開院当初からの思いをしっかりと果たすため、今後も多くの方の心休まる場所として存続していきたいと思っております。

さて、今年57回目を迎える、記念の日には、OB、現職スタッフ大勢が集まり共にお祝いのひと時をすごしました。定

年退職されたOBをお招きしての昼食会から始まり、午後からは創立記念式典を開催し、職員80名の集まる中、共に記念の日をお祝いいたしました。

式典は、院歌斉唱から、理事長、院長からの職員へ向けたメッセージ、そして永年勤続表彰式と昇格者紹介が行われました。

式典に続いて創立記念イベントが行われ、春に立てた各部門の事業計画の半期報告を行いました。25年度も中間地点を過ぎ、しっかり目標達成できるように、巻を入れていかなければなりません。来し方を振り返るだけでなく、次の世代に残す阪南病院の足場をしっかり支える次への視点も大切です。半期振り返りは阪南病院の現状報告ですから、職員はもちろん、OBの方も興味深そうに聞いておられました。

創立記念を過ぎ、当院はまた新たな気持ちで次の60年、そして100年を目指して更なる努力を重ねてまいります。今後ともどうぞご支援、ご指導くださいますようよろしくお願い申し上げます。

和泉市救命救急士会研修会

11月14日(木)和泉市救命救急士会にて「救急搬送時にみられる精神疾患」と題し、横井副院長が講演されました。

この研修会は今回で123回を迎える歴史ある研修会です。これは、同会より、救急搬送時の対応や精神疾患についての理解を深めたいとご依頼いただき、実現したものです。和泉市内の医療機関からも参加があり、全体で30名を超える会でした。講演は当院の現況や、精神科救急病棟での治療、また救急に多い精神疾患といった項目でお話をさせていただきました。

質疑応答も現場での疑問など、時間延長するほど熱心な質疑が続きました。地域との連携というところでは、日ごろお世話になっている救急隊の方と良い関わりを持つことができました。



G棟1階 理学療法室が少し広くなり、運用がスタートしています!

当院では理学療法の運用を開始するため理学療法室の拡張工事や機器の配置など行ってまいりましたが、この度すべて整い、運用をスタートしています。理学療法は基本的動作能力の回復と応用的動作能力、社会的適応能力の回復とした日常生活諸活動の実現を目的として行われます。これからの新たな治療進展に繋ぐためにもしっかりと施設基準管理に努め、より質の高いリハビリテーションを提供していきたいと考えております。



 当院は敷地内完全禁煙です

近畿大学医学部堺病院



医療機関紹介 renkei bookmark

近畿大学医学部は、狭山、堺、奈良病院の3つの附属病院を有し、人的、医学的交流を密に行い、それぞれの地区の基幹病院として、また優秀な医師や医学者を育てる教育施設として、その使命を果たしております。堺病院は、患者さまが安らぎをもって健康を取り戻していただける堺市南区の閑静な環境の中で、無機質な医療ではなく、warm-hearted(心温まる)、アットホームなホスピタリティを職員一同大切にしながら、高度な先端医療を提供し続けております。スタッフは、医師、看護師、コメディカルともに近畿大学医学部を中心とした人材が配置されております。大学病院といえども、決して患者さまや市中の医療機関に、決して敷居が高いと感じさせない病院作りに努めております。内科を初めとし、各診療科は専門性を大切にしながらも、各科の敷居を低くし、互いに密に連携をしながら、患者さまによりよい医療を提供してゆくという診療スタンスを大切にしております。当院は地域に密着した医療に力を注いでおります。お困りの患者さまがおられましたら、お気軽にご紹介いただければ深甚でございます。今後とも何卒、近畿大学医学部堺病院をよろしくお願ひ申し上げます。



病院長
竹村 司 先生

- 住所 〒590-0132 大阪府堺市南区原山台2丁7-1
- 電話番号・HP 072-299-1120(代表) <http://www.med.kindai.ac.jp/sakai/>
- 最寄駅 泉北高速鉄道 柁・美木多駅
- 診療科 腫瘍内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器・アレルギー内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、消化器内科、循環器内科、心療内科、神経内科、緩和ケア科、脳神経外科、外科、産婦人科、小児科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、整形外科、歯科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科、膠原病内科

岡原クリニック



岡原クリニックは親切、丁寧で、質の高い診療を提供し、地域の皆さんから信頼されるクリニックであることを理念としています。外科医として救急医療の現場でも活躍した院長が2000年に堺市西区津久野町で開院。地域の医療機関と連携をとりながら、何でも相談できる医師として子どもから高齢者まで、主に内科的な診療を中心に、外科、整形外科、小児科まで、家族みんなのかかりつけ医として幅広く全人的な医療を提供しています。また、何でも相談できる地域のかかりつけ医として、訪問診療や認知症のご相談もお受けしており、地域へ安心をお届けしています。

- 住所 593-8322 大阪府堺市西区津久野町3-27-50
- 電話番号・HP 072-267-6789 <http://okahara-clinic.or.jp/>
- 最寄駅 JR阪和線 津久野駅 徒歩3分
- 診療科 消化器内科、外科、リハビリテーション科、在宅医療、禁煙外来など

Dr情報

院長 岡原 和弘 先生

☆クリニックの専門:消化器内科(内視鏡あり)。

☆経歴:奈良県立医科大学医学部を卒業、大阪大学医学部第二外科学入局、大阪通信病院(現NTT西日本大阪病院)、天王寺病院(四天王寺病院)、大阪大学医学部第二外科 研究生 学位取得、Otsuka America Maryland Research Laboratory 研究員。相原第二病院 外科部長。

☆クリニック特色:内科や外科、時には小児科も診察しており、地域のかかりつけ医として幅広く治療を展開しています。

☆患者様層:中高年の方が多いが、子供から高齢者まで幅広い世代が通院されています。

☆休日の過ごし方:家族と旅行など。 ☆趣味:ゴルフ。 ☆血液型:O型。

診療科目	診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
予約検査	8:30~ 9:00	○	○	○	○	○	○	○	—
外科/リハビリテーション科	9:00~12:00	○	○	—	○	○	—	—	—
	17:00~19:30	○	○	—	○	○	—	—	—

『第20回 精神保健福祉セミナー』開催

堺市精神保健福祉セミナーは、精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発、及び市民のこころの健康を図るため、堺市内の精神科医療機関・社会復帰施設・当事者団体・家族会・堺市こころの健康センターが集まり活動しています。

当院は実行委員の一員として参加させていただき、これまでも講演会やシンポジウム、コンサートなど様々な形で展開してまいりました。今年度は、平成25年11月16日(土)関西大学堺キャンパスにて「セミナーが20歳になりました」をテーマに講演会・当事者のDVD映像・座談会(当事者・家族・支援者)など趣向をこらし、精神障害について楽しく学べるイベントを行ないました。

ちなみに、今回のイベントには当院デイケアの方のちぎり絵作品「虹の架け橋」がポスターとして採用され、感謝状をいただきました。今後とも「精神障害」について解りやすく伝え、多くの情報提供のできるセミナーにしたいと考えております。

